

三方五湖エリア魅力アップ推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	藤原 宏子	
事業主体		実行委員会			事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法		負担金										
補助率		定額										
福井県長期ビジョン における位置付け		分野 [3 楽しみを広げる(創造力) 政策 [10 新幹線開業効果を最大限				関連する県の計画等		[高速交通開通アクション・プログラム]				
[解決すべき問題・課題] H30年度に三方五湖エリア全体協議会を立ち上げ、本エリアの「目指すべき姿」をステップアッププログラムとともに示した。今後、このプログラムを関係団体や地域住民と協力しながら着実に実行していく必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] R2年レインボーライン入込数 378千人						
[事業目的] ステップアッププログラムの進捗を管理しながら、協議会の下に設けた部会において、新幹線敦賀開業時までには解決すべき観光の問題点を検討し、課題解決のための事業の実行へとつなげていく。また、新幹線開業時に向けて、三方五湖エリアのブランド力を向上させ、効果的に発信していく。												
[事業内容] (1) 「三方五湖エリア全体協議会」の開催(30年度～) ・協議会を構成する観光、環境、農・漁業などの関係団体と県、美浜町・若狭町が、ステップアッププログラムの進捗を管理するとともに、三方五湖エリアの課題や必要となる取組みについて議論し、エリア全体の更なる魅力アップに向けた施策を検討 (2) 三方五湖エリア全体協議会専門部会の開催(令和元年度～) ・専門部会を設け、三方五湖の課題の解決策を検討する。 ・各課題に応じて、有識者(専門家)のアドバイスを受け課題解決に向けてサポートする。 (3) 三方五湖ブランド力向上・広報施策(令和元年度～) ・北陸新幹線敦賀開業を見据え、三方五湖ロゴマークを活用した広報施策の展開												
[受益者] 福井県の物産関係事業者等						[想定される受益者数] 300社						
前事業の有無・実績		■ 無 □ 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・ 役割分担					■ 有 事業名 三方五湖エリア活性化支援事業 (役割分担)	
市町との連携状況		美浜町、若狭町とともに協議会を構成				他県の状況						

三方五湖エリア魅力アップ推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	藤原 宏子	
事業主体	実行委員会				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	負担金											
補助率	定額											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	1,500					1,500						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		1,628	1,412	2,000	1,500	1,500						
2月現計予算額の推移		1,628	1,412	2,000	1,500							
決算額の推移		836	1,197	2,000								
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	三方五湖の入込数（千人） (目標) 実績	(300) 282	(300) 371	(300) 378	(300)	(300)	(338)		新型コロナの影響も踏まえ、当面28年水準（30万人）を維持 ※レインボーラインの数値を準拠 中間目標は観光ビジョンの目標値（H30年度比20%増）に合わせる			
活動指標	全体協議会の開催 (目標) 実績			(2) 2	(2)	(2)						
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> ・全体協議会の実施 ・三方五湖エリアにおける周遊バスの実証実験 ・三方五湖エリアにおけるサイクリングツーリズムの推進 ・ロゴマークを活用したPRの推進（ノベルティ制作等） ・三方五湖が抱える課題（交通、アウトアクティビティ、広報）に関して、専門部会を開催し、解決策を検討 								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

三方五湖エリア活性化支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	藤原 宏子						
事業主体	若狭町、美浜町ほか				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算	事業 開始 年度	R3 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度					
事業実施方法	補助金												□ 法定受託事務	□ 補助金	■ その他	経過年数	2 年
補助率	1/2ほか																
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 新幹線開業効果を最大限]				関連する県の計画等		[高速交通開通アクション・プログラム]										
[解決すべき問題・課題] H30年度に三方五湖エリア全体協議会を立ち上げ、本エリアの「目指すべき姿」をステップアッププログラムとともに示した。今後、このプログラムを関係団体や地域住民と協力しながら着実に実行していく必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] R2年レインボーライン入込数 378千人											
[事業目的] 北陸新幹線開業時の重要な交流拠点となる三方五湖エリアにおいて、県・町・地元が一体となって観光の目玉づくりを加速させ、誘客促進を図る。																	
[事業内容] (1) 観光拠点のレベルアップ 遊覧船整備、舟小屋改修、レインボーライン景観維持 (2) 飲食店や宿泊施設の魅力向上 三方五湖の多様な自然を楽しめる飲食空間づくり支援																	
[受益者] 若狭地域						[想定される受益者数]											
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・ 役割分担	□ 無 ■ 有 事業名 三方五湖エリア魅力アップ推進事業 (役割分担)											
市町との連携状況					他県の状況												

三方五湖エリア活性化支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	藤原 宏子		
事業主体	若狭町、美浜町ほか				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	補助金					□ 法定受託事務			<input type="checkbox"/> 補助金				
補助率	1/2ほか					■ その他			<input checked="" type="checkbox"/> その他				
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	19,921				19,921								
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移					193,535	19,921	レインボーライン山頂公園の観光施設改修工事の完了 (R3) 等						
2月現計予算額の推移					184,535								
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	三方五湖の入込数 (千人) (目標) 実績	(300) 282	(300) 371	(300) 378	(300)	(300)	(338)		新型コロナの影響も踏まえ、当面28年水準 (30万人) を維持 ※レインボーラインの数値を準拠 中間目標は観光ビジョンの目標値 (H30年度比20%増) に合わせる				
活動指標	(目標) 実績												
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価					
<ul style="list-style-type: none"> ・レインボーライン山頂公園観光施設改修整備 (トイレ・売店棟整備、浄化槽改修、上水道設備整備) ・三方五湖遊覧船整備 (遊覧船の造船、発着場等の整備) ・舟小屋改修 (茅葺屋根の舟小屋を独自の文化を伝える観光スポットとして修繕) 								<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額 173,614		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

若狭湾サイクリングルート整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	藤原 宏子
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R3 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度) R7 年度	藤原 宏子
事業実施方法	直営										
補助率											
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを広げる (創造力)] 政策 [10 新幹線開業効果を最大限]				関連する県の計画等		[高速交通開通アクション・プログラム]				
[解決すべき問題・課題] 嶺南地域の観光客入込数は県全体の3割程度にとどまっており、嶺南地域の魅力を活かした誘客の目玉をつくる必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] R2年 嶺南地域観光客入込数 (延べ人数) 6,602千人 (県全体: 21,834千人)					
[事業目的] 三方五湖周遊ルートを核としたサイクリングルートを整備し、ナショナルサイクルルートの指定を目指すとともに、北陸新幹線開業に向けて、国内外のサイクリストやファミリー層などの誘客を図る。											
[事業内容] (1) 走行環境整備 小浜大飯高浜自動車道維持管理調査 (2) 受入環境整備 ワークショップの開催 (3) 推進体制 協議会運営 (4) 情報発信											
[受益者] 若狭地域						[想定される受益者数]					
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 三方五湖エリア魅力アップ推進事業 (役割分担)			
市町との連携状況	嶺南エリアの市町等とともに協議会を設立					他県の状況					

若狭湾サイクリングルート整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	藤原 宏子					
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度		
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金						□ その他	
補助率	0															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等										
予算額	8,303	3,750			4,553	電源立地地域対策交付金										
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移					7,814	8,303										
2月現計予算額の推移					7,814											
決算額の推移																
前年度までの 主な増減理由																
[成果指標等の推移]																
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	三方五湖の入込数（千人） (目標) 実績	(300) 282	(300) 371	(300) 378	(300)	(300)	(338)		新型コロナの影響も踏まえ、当面28年水準（30万人）を維持 ※レインボーラインの数値を準拠 中間目標は観光ビジョンの目標値（H30年度比20%増）に合わせる							
活動指標	サイクリングイベント等 実施件数（回） (目標) 実績				(1)	(1)										
[事業の評価]																
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価								
<ul style="list-style-type: none"> ・協議会設立および幹事会等の実施 ・ルート愛称およびロゴマークの作成 ・ワークショップの開催 ・サイクルステーションスタッフに対する研修等への支援 ・サイクリングイベント開催への支援 ・ゴイチプロモーションへの支援 								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額					
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了						
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他						

福井・滋賀・京都三府県連携観光促進協議会負担金

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	藤原 宏子	
事業主体		福井・滋賀・京都三府県連携観光促進協議会			事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	H29 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	負担金											
補助率	定額											
福井県長期ビジョン における位置付け		分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 新幹線開業効果を最大限]			関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン]					
[解決すべき問題・課題] 日本遺産や鉄道遺産などに認定された観光資源等を本県の観光誘客に活用するため、福井県、滋賀県、京都府が広域的に連携して観光ルートの開発など実施する必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] R2年 福井県観光客入込数 1,171万人 観光消費額 834億円						
[事業目的] 日本遺産や鉄道遺産、海湖と森の雄大な自然資産に美味しい食などの魅力を加えた新たな広域観光誘客を、福井県、滋賀県、京都府で連携して促進する。												
[事業内容] 福井・滋賀・京都三府県連携観光促進協議会（3府県）による観光誘客 ○日本遺産・鉄道遺産・歴史・自然遺産活用 ・新たな周遊モデルルートの開発（「日本遺産、鉄道遺産or戦国マップ」を刷新） ・観光キャンペーン等による相互PR ・鉄道遺産や海湖と森の自然資産の他、関連するガイダンス施設や体験メニューなどの観光素材集を活用した共同営業												
[受益者] 福井県の観光関係事業者（宿泊業、飲食サービス業）						[想定される受益者数] 5,288事業所（H28経済センサス—活動調査）						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)			関連事業の有無・ 役割分担			□ 無 ■ 有 事業名 高速道路網を活用した観光誘客事業 (役割分担) 上記事業の「海湖と歴史の若狭路」キャンペーンにおいて、三府県の日本遺産等をPR					
市町との連携状況				他県の状況			滋賀県、京都府も同額を負担					

福井・滋賀・京都三府県連携観光促進協議会負担金

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	藤原 宏子		
事業主体	福井・滋賀・京都三府県連携観光促進協議会				事務 区 分	■ 自治事務		事業 区 分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H29 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	負担金					□ 法定受託事務			<input type="checkbox"/> 補助金		経過年数		
補助率	定額								<input checked="" type="checkbox"/> その他		6 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	1,000	500			500	地方創生推進交付金							
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移		1,000	1,000	600	1,000	1,000							
2月現計予算額の推移		1,000	1,000	600	1,000								
決算額の推移		1,000	1,000	600									
前年度までの 主な増減理由	R2 新型コロナウイルスの影響に伴う事業実施の見送り等により負担金減												
[成果指標等の推移]													
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	観光客入込数(千人) (※暦年)	(目標) (12,750)	(13,000)	(17,500)	(18,000)	(18,500)	(20,000)	(20,000)	R元年目標値 13,000千人(観光新戦略 H26~R1) R6年目標値 20,000千人(観光ビジョン R2~R6)				
		実績 16,969	18,100	11,706									
活動指標	三府県共同営業回数	(目標) (4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)					
		実績 4	4	0									
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価					
<ul style="list-style-type: none"> ・「戦国を訪ねる旅マップ」増刷(3万部) ・三府県周遊ドライブバス事業は新型コロナウイルスの影響により中止 								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

観光レベルアップ事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	藤原 宏子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H23 年度 経過年数 12 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 新幹線開業効果を最大限]				関連する県の計画等	[ふくい観光ビジョン]						
[解決すべき問題・課題] 「ふくい観光ビジョン」目標（R6観光入込客数2,000万人）の達成に向け、専門家の助言を取り入れ、本県の観光施策の進行管理を行う。						[問題・課題を表す客観的データ] R2年 福井県観光客入込数 1,171万人 観光消費額 834億円						
[事業目的] 北陸新幹線敦賀開業を見据え、観光客の満足度を一層高めるための観光施策の推進を図る。												
[事業内容] 専門家の指導による観光施策の推進 観光事業に精通した専門家の助言を取り入れ、本県の観光施策を推進												
[受益者]						[想定される受益者数] 11,706千人（R2年観光客入込数）						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

観光レベルアップ事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	藤原 宏子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H23 年度 経過年数 12 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務						
補助率												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	190				190							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		564	3,171	646	190	190						
2月現計予算額の推移		564	3,171	646	190							
決算額の推移		519	1,633	528								
前年度までの 主な増減理由	R1 新たな戦略策定 R3 オンライン会議による開催費用の削減											
[成果指標等の推移]												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	(目標) 実績								会議を開催し専門家の助言を施策に取り入れるための事業であり、成果指標はなじまない			
活動指標	(目標) 実績	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1)	(1)	(1)	(1)				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
オンライン形式で懇話会を1回開催								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

新幹線開業に向けたインバウンド対策事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	藤原 宏子	
事業主体	県、市町、観光協会、民間事業者等				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R1 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	3/4、1/2以内											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 新幹線開業効果を最大限]				関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン]					
[解決すべき問題・課題] 多言語に対応した標識、フリーWi-Fiエリア、キャッシュレス環境等、外国人がストレスフリーに旅行が出来る環境構築が課題。						[問題・課題を表す客観的データ] 観光庁 訪日外国人旅行者の受入環境整備に関するアンケート内 「旅行時に困ったこと」 1位 多言語対応、2位 二次交通、3位 Wi-Fi 観光庁資料 2021年3月時点 消費免税店舗数 福井県 91 (全国46位)						
[事業目的] 北陸新幹線敦賀延伸に向けて、外国人観光客が快適に旅行できる受入環境を整え、消費拡大を促していくため、市町との共同により重点整備エリアを選定し、域内のキャッシュレス決済・免税対応等を面的に整備する。												
[事業内容] (1) 県内観光事業者のインバウンド対応意識醸成、安心して受入が出来る体制づくり ・ 県内観光事業者向けインバウンドビジネスセミナーの開催 (2) 重点整備エリア内における外国人観光客の受入環境整備に対する経費支援												
[受益者] 福井県の観光関係事業者(宿泊業、飲食サービス業)						[想定される受益者数] 5, 288事業所 (H28経済センサス)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・ 役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	・ 各市町も商談会に参加 (変更) 市町が実施する受入環境整備を補助				他県の状況							

新幹線開業に向けたインバウンド対策事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	藤原 宏子			
事業主体	県、市町、観光協会、民間事業者等				事務 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開 始 年 度	R1 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度	
事業実施方法	直営、補助										事業 区 分			R1 年度
補助率	3/4、1/2以内										経過年数			4 年
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	37,734				37,734									
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移			823	98,432	62,640	37,734	市町からの1件当たりの補助申請見込み額の減							
2月現計予算額の推移			823	8,880	16,800									
決算額の推移			0	7,249										
前年度までの 主な増減理由	R2 受入環境整備補助金制度創設													
[成果指標等の推移]														
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	消費税免税店数 (目標) 実績				91			(500)	※北陸新幹線開業時の消費税免税店数 現状 85店 → 目標 500店					
活動指標	セミナー開催数 (目標) 実績		(4) 0	(3) 2	(3) 8	(10)								
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価						
5市町 計50事業者に対して受入環境整備に関するセミナーを実施								<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	24,906			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

福井を学ぶ体験旅行推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	藤原 宏子	
事業主体		県、(公社)福井県観光連盟、市町			事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H22 年度 経過年数 13 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	10/10、1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け		分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 新幹線開業効果を最大限]			関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン]					
[解決すべき問題・課題] 本県への修学旅行生の数は北陸3県の中で最も少ない。						[問題・課題を表す客観的データ] R2年度 教育旅行年報 都道府県別旅行先 (中学校) 福井14校、石川14校、富山8校 (高等学校) 福井 6校、石川11校、富山3校						
[事業目的] 北陸新幹線福井・敦賀開業に向けて、福井ならではの体験プログラムの造成、受入体制の充実、旅行会社等への営業強化などにより、本県への教育旅行の誘致促進を図る。												
[事業内容] (1) 教育旅行誘致の推進 【県観光連盟】 ○福井ならではの修学旅行向け体験プログラムの造成 ○大手旅行会社を対象にした研修の受入 ○旅行会社、学校等への営業訪問 ○旅行会社向けのエクスカーション、首都圏における商談会開催(北陸3県、JR西日本、JR東日本と連携実施) ○教育関係者向けの説明会開催、本県への視察招聘 ○修学旅行における福井県オリジナル体験メニューの体験料助成 助成額 : 1,000円/人・泊 (2) 合宿誘致の推進 ○合宿誘致に向けたパンフレット作成 ○学生等の合宿にかかる宿泊料等の助成に対する支援 事業主体 : 市町 助成額 : 宿泊費 500円/人泊 地域交流費 250円/人 補助率 : 宿泊費 県1/2(市町1/2) 地域交流費 県10/10												
[受益者] 県外から福井県への教育旅行者						[想定される受益者数] 94,800人(H29)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況						

福井を学ぶ体験旅行推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	藤原 宏子	
事業主体	県、(公社)福井県観光連盟、市町				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H22 年度 経過年数 13 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営、補助					事業 区分						
補助率	10/10、1/2											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	37,971				37,971							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		36,486	42,999	38,651	11,074	37,971						
2月現計予算額の推移		36,486	41,449	38,888	11,074							
決算額の推移		30,977	34,411	6,155								
前年度までの 主な増減理由	令和3年度当初予算の一部はコロナ対策のため令和2年度2月補正予算に前倒し											
[成果指標等の推移]												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	県外からの教育旅行者数 (目標) 実績	(100,000) 97,163	(100,000) 104,281	(100,000) 44,116	(100,000)	(100,000)	(100,000)	(100,000)	福井県観光新戦略の数値目標「教育旅行者数10万人」を継続			
活動指標	合宿助成制度実施市町数 (目標) 実績	(17) 15	(17) 15	(17) 15	(17)	(17)			県内17市町中15市町が実施			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内事業者対象の受入体制強化研修会を初めて開催 ・ 北陸三県が連携し、三大都市圏の旅行会社とのオンライン商談会や団体列車のお出迎えを実施 								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

コンベンション・MICE誘致促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	藤原 宏子	
事業主体	(公社)福井県観光連盟				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1/2、10/10											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 新幹線開業効果を最大限]				関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン]					
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線福井・敦賀開業に向けて、さらなるコンベンション誘致拡大を図る必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] R2度：開催助成金申請件数44件（参加予定人数21,824人） R3度：開催助成金申請件数31件（参加予定人数13,940人）						
[事業目的] 国際会議や全国的な会議・学会等の誘致拡大に向けて、誘致活動の強化およびコンベンション主催者への支援等に取り組み、県内全域でコンベンション振興を図る。												
[事業内容] (1) コンベンション開催助成金 補助上限 国内：4,500千円 国外：1,500千円 (2) コンベンション誘致・活用推進 ・コンベンション誘致職員の配置 ・営業活動 ・広報宣伝 ・MICE誘致のためのイベント出展 等												
[受益者] 福井県の観光関係事業者（宿泊業、飲食サービス業）						[想定される受益者数] 5,288事業所（H28経済センサス—活動調査）						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

コンベンション・MICE誘致促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	藤原 宏子	
事業主体	(公社)福井県観光連盟				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度	
事業実施方法	補助					□ 法定受託事務						□ 実行予算
補助率	1/2、10/10					□ その他						事業開始 年度
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	36,938				36,938							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移				50,135	29,248	36,938						
2月現計予算額の推移				6,243	7,107							
決算額の推移				4,622								
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	コンベンション参加人数 (目標) 実績			(20,000) 0	(20,000)	(20,000)	(30,000)	(40,000)	※開催助成金交付実績 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、開催中止等が発生			
活動指標	コンベンション開催件数 (目標) 実績			(30) 0	(30)				※開催助成金交付実績 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、開催中止等が発生			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> ・コンベンション開催助成金交付件数 2件 ・MICE誘致のためのイベント出展 3件 (11月出展1件、2月オンライン出展1件、3月出展予定1件) 								□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								■ 継続	□ 休止	□ 完了		
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

DMOによる観光地域づくり推進事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	藤原 宏子	
事業主体	(公社) 福井県観光連盟				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助											
補助率	10/10											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 新幹線開業効果を最大限]				関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン]					
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線福井・敦賀開業に向けて、県観光連盟が本県の観光地域づくりの中核となってさらなる観光振興と誘客促進を図る必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] R2年 福井県観光客入込数 1,171万人 観光消費額 834億円						
[事業目的] 福井県版DMOが地域の観光を担うプレイヤー支援やマーケティング調査等を行うことにより、地域の稼ぐ力を引き出すとともに、地域が一体となって観光に取り組む基盤づくりを図る。												
[事業内容] (1) 観光地域づくりマネージャーの設置 (2) 観光スーパーバイザーの設置 (3) インバウンドアドバイザーの設置 (4) 地域の観光を担うプレイヤー支援 補助内容：地域のプレイヤーが実施する新規性のある事業の立ち上げを支援 (5) 外部専門家によるサポート (6) ⑧観光デジタルマーケティング(CRM)推進事業 (7) 観光教育推進事業 (8) 他地域のモデルプレイヤーとのネットワーク構築 (9) ⑧観光事業者(シェフ等)誘致のための都市圏PR拠点運営												
[受益者] 福井県の観光関係事業者(宿泊業、飲食サービス業)						[想定される受益者数] 5,288事業所(H28経済センサス—活動調査)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

DMOによる観光地域づくり推進事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	藤原 宏子	
事業主体	(公社) 福井県観光連盟				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助							<input checked="" type="checkbox"/> 補助金				
補助率	10/10							<input type="checkbox"/> その他				
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	163,755	67,134			96,621	地方創生推進交付金 観光振興事業費補助金						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移					90,975	163,755	以下の事業を追加したことによる増額 ・観光デジタルマーケティング(CRM)推進事業 ・観光教育推進事業					
2月現計予算額の推移					101,754							
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	観光消費額 (目標) 実績				(1,342)	(1,352)	(1,700)	(1,700)	R6年目標値 1,700億円(ふくい観光ビジョン)			
活動指標	観光プレイヤー支援数 (目標) 実績				(10) 13	(10)						
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
観光地域づくりマネージャー、観光スーパーバイザーによる地域のプレイヤー支援に取り組み、13件のプレイヤー事業を支援				プレイヤーの稼ぐ力の向上のため、デジタルマーケティングによるサポート体制を構築する。				<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

バスツアー造成促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	藤原 宏子	
事業主体		(公社)福井県観光連盟			事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 8 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	補助											
補助率	10/10											
福井県長期ビジョン における位置付け		分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 新幹線開業効果を最大限]			関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン]					
[解決すべき問題・課題] コロナ禍において、バス旅行者が大幅に減少しており、旅行需要を回復させるために旅行商品造成促進が必要である。						[問題・課題を表す客観的データ] R2年 福井県観光客入込数 1,171万人 観光消費額 834億円						
[事業目的] 北陸新幹線金沢開業や舞鶴若狭自動車道全線開通を契機として、本県を訪れるバスツアーを企画する旅行会社に対し支援することで、首都圏や中国・四国地方からの新たな観光誘客を図る。												
[事業内容] バスツアーを企画する旅行会社に対する助成 補助単価： 25,000円/台 ※貸し切りバス料金の制度改正（H26.8月～）に伴う値上げ相当 補助台数： 80台（上限）												
[受益者] 福井県の観光関係事業者（宿泊業、飲食サービス業）						[想定される受益者数] 5,288事業所（H28経済センサス—活動調査）						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

バスツアー造成促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	藤原 宏子	
事業主体	(公社)福井県観光連盟				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 8 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	補助											
補助率	10/10											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	2,000				2,000							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		2,000	2,000	2,000	2,000	2,000						
2月現計予算額の推移		2,000	2,000	2,000	6,325							
決算額の推移		1,775	1,875	1,265								
前年度までの 主な増減理由	R3 日帰りバスツアーを対象に拡充											
[成果指標等の推移]												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	送客人数	(目標) (2,880)	(2,880)	(2,880)	(2,880)	(2,880)			36名 (定員45名×乗車率8割) ×台数			
		実績 2,378	2,394	2,035								
活動指標	支援台数	(目標) (80)	(80)	(80)	(80)	(80)						
		実績 71	75	86								
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
新型コロナウイルスの状況を踏まえ、日帰りバスツアーを対象に拡充								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

関西・中京圏からの誘客強化事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	藤原 宏子	
事業主体	県、(公社)福井県観光連盟				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	10/10											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 新幹線開業効果を最大限]				関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン]					
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線福井・敦賀開業や中部縦貫自動車道本県開通にあわせ、関西・中京圏へのプロモーション強化が必要である。						[問題・課題を表す客観的データ] 令和2年県内観光客入込数 11,706千人 うち、関西地区からの入込数 2,121千人 うち、中京地区からの入込数 1,261千人						
[事業目的] 関西・中京圏において、恐竜等の強みを活かした情報発信を行うことにより、さらなる誘客を強化する。												
[事業内容] (1) JRとの連携による関西・中京圏誘客強化事業 (2) 岐阜県との連携による誘客強化事業 (3) ツーリズムEXPOジャパン出展事業												
[受益者] 福井県の観光関係事業者(宿泊業、飲食サービス業)						[想定される受益者数] 5,288事業所(H28経済センサス—活動調査)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況	・ 出向宣伝等への共同参加					他県の状況						

関西・中京圏からの誘客強化事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	藤原 宏子		
事業主体	県、(公社)福井県観光連盟				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度	事業終了予定年度(見直し年度)	R5 年度	
事業実施方法	直営、補助									R2 年度			R5 年度
補助率	10/10									3 年			
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	56,034	28,017			28,017	地方創生推進交付金							
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移			20,300	23,518	56,034	以下の事業を追加したことによる増額 ・ JRとの連携による関西・中京圏誘客強化事業 ・ 岐阜県との連携による誘客強化事業							
2月現計予算額の推移			5,969	23,518									
決算額の推移			3,052										
前年度までの主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	関西中京圏からの入込数(千人)	(目標)	(6,083)	(6,083)	(6,083)	(6,083)		ふくい観光ビジョン R6年目標					
		実績	3,382										
活動指標	広告掲出駅数	(目標)	(2)	(2)	(3)	(3)	(3)						
		実績	0										
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価			実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価						
<ul style="list-style-type: none"> 名鉄百貨店本店の福井物産展会場にて、恐竜等を活かした福井県の観光PRイベントを実施(名古屋) 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、ツーリズムエキスポ中止(大阪) 			アフターコロナを見据えた関西中京圏向けのプロモーションを強化				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額			
							□ 継続	□ 休止	□ 完了				
							□ 整理統合	□ 廃止	□ その他				

福井城址を活用したまちなか賑わいづくり支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	藤原 宏子	
事業主体	県内の民間事業者				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	□ 実行予算 ■ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	補助、負担金											
補助率	1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 新幹線開業効果を最大限]				関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン]					
[解決すべき問題・課題] 福井駅前、福井市中央公園での自主イベントにあわせて、県庁広場などの活用を行い、さらなる賑わい創出が必要である。						[問題・課題を表す客観的データ] 令和2年 福井市観光客入込数(延べ人数) 2,445千人						
[事業目的] 歴史・文化、食、伝統工芸などの福井の魅力を全国に発信できるイベント開催を支援し、県都福井の賑わいを創出する。												
[事業内容] (1) ワンパークフェスティバルへの支援(共催) 実施主体 ワンパークフェスティバル実行委員会 事業内容 県庁広場における福井伝統工芸ものづくり展示・体験等 (2) 賑わい創出イベントへの支援 補助対象 県内の民間事業者 補助上限 3,000千円												
[受益者] 福井県の観光関係事業者(宿泊業、飲食サービス業)						[想定される受益者数] 5,288事業所(H28経済センサス—活動調査)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

福井城址を活用したまちなか賑わいづくり支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	藤原 宏子				
事業主体	県内の民間事業者				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度			
事業実施方法	補助、負担金					□ 法定受託事務							□ 実行予算	■ 補助金	■ その他
補助率	1/2														
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等									
予算額	27,000	20,000			7,000	文化芸術創造拠点形成事業補助金									
[予算額の推移等] (単位：千円)															
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移				30,000	30,000	27,000	イベント支援件数 2件→1件								
2月現計予算額の推移				6,000	4,000										
決算額の推移				3,000											
前年度までの 主な増減理由															
[成果指標等の推移]															
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	イベント入込数 (人) (目標) 実績			(20,000) 0	(20,000) 3,700	(20,000)			ワンパークフェス						
活動指標	(目標) 実績														
[事業の評価]															
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価							
R3.11月、ワンパークフェスティバル2021開催								□ 拡充	■ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額				
								□ 継続	□ 休止	□ 完了	3,000				
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他					

高速道路網を活用した観光誘客事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	藤原 宏子	
事業主体	県、実行委員会				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	H25 年度 経過年数 10 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営、負担金											
補助率	定額											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 新幹線開業効果を最大限]				関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン]					
[解決すべき問題・課題] コロナ禍において、高速道路を利用したマイカーによる旅行者が大幅に減少、旅行需要を回復させるための割引キャンペーンなどが必要である。						[問題・課題を表す客観的データ] R2年県内観光客入込数 11,706千人 うち、関西地区からの入込数 2,121千人 うち、中京地区からの入込数 1,261千人						
[事業目的] 石川県やNEXCOと連携し、ドライブプラン造成などを実施し、関西・中京圏等からの誘客を強化する。												
[事業内容] (1) 「海湖と歴史の若狭路」キャンペーンの実施 【実行委員会負担金】 嶺南市町等と一体となって、若狭路の観光地やイベントをPRするキャンペーンを実施 (2) 石川県との連携による関西・中京発のドライブプラン造成 (3) NEXCOと連携した誘客キャンペーン等の実施 ○お国じまんカードラリー ・NEXCO西日本と包括協定を締結する府県の「ご自慢」の観光地を周遊するキャンペーン ○SAでの観光情報発信 ・若狭路(福井県)へ向かう高速道路SAでの観光パンフレット配架												
[受益者] 福井県の観光関係事業者(宿泊業、飲食サービス業)						[想定される受益者数] 5,288事業所(H28経済センサス—活動調査)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	・実行委員会参加により共同でイベント、出向宣伝等を実施 ・お国じまんカードラリーのスポット選定、運営					他県の状況						

高速道路網を活用した観光誘客事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	藤原 宏子	
事業主体	県、実行委員会				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	H25 年度 経過年数 10 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営、負担金											
補助率	定額											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	9,000	4,500			4,500	地方創生推進交付金						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		5,535	5,465	5,464	9,000	9,000						
2月現計予算額の推移		5,535	5,465	5,464	9,000							
決算額の推移		5,413	5,420	5,461								
前年度までの 主な増減理由	R3 石川県と連携したドライブプラン造成											
[成果指標等の推移]												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	観光客入込数(千人) (※暦年)	(目標) (12,750)	(13,000)	(17,500)	(18,000)	(18,500)	(20,000)	(20,000)	R6年目標値 20,000千人(観光ビジョン R2~R6)			
		実績 16,969	18,100	11,706								
活動指標	出向宣伝実施箇所数	(目標) (17)	(17)	(17)	(17)	(17)	(17)	(17)	嶺北地域、京都府・滋賀県、関西・中京ほか			
		実績 26	26	0								
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> ・「海湖と歴史の若狭路」キャンペーン ・NEXCOと連携した誘客キャンペーン等 高速道路SAでの観光情報発信(パンフ配架) お国じまんカードラリー(11~1月) 石川県との連携によるコンテンツ造成、情報発信 								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

観光プロモーション動画制作事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	藤原 宏子
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度) R5 年度	
事業実施方法	直営										
補助率											
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 新幹線開業効果を最大限]				関連する県の計画等	[ふくい観光ビジョン]					
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線福井・敦賀開業や中部縦貫自動車道開通にあわせ、プロモーション強化が必要である。						[問題・課題を表す客観的データ] R2年 福井県観光客入込数 1,171万人 観光消費額 834億円					
[事業目的] 北陸新幹線福井・敦賀開業や中部縦貫自動車道開通等に向けて、福井県が持つ観光素材の魅力を強力にアピールする観光プロモーション動画を新たに制作し、観光商談会や誘客イベントで上映し、福井県への誘客を促進する。											
[事業内容] プロモーション動画の制作 (活用方法) <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年秋に開催されるJR販促会議等、新幹線開業に向けた営業において旅行会社に対してPR ・県外での観光商談会や営業活動において、旅行会社に対してPR ・県外での誘客イベントにおいて来場者に対してPR ・海外でのPR活動(国際旅行博出展、海外事務所の現地旅行社訪問営業等)の際に活用 											
[受益者] 観光事業者(宿泊業、飲食、サービス業)						[想定される受益者数] 5,288事業所(H28経済センサス)					
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況					

観光プロモーション動画制作事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	藤原 宏子	
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開 始 年 度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務						
補助率												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	9,108				9,108							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移						9,108						
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	(目標) 実績								新たな動画を制作する事業であり、成果指標はなじまない			
活動指標	(目標) 実績											
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
								□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								□ 継続	□ 休止	□ 完了		
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

観光商談会開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	藤原 宏子	
事業主体	(公社)福井県観光連盟				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H24 年度 経過年数 11 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	補助											
補助率	10/10											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 新幹線開業効果を最大限]				関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン]					
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線福井・敦賀開業や中部縦貫自動車道開通を契機に、地域やターゲットに応じた誘客戦略を推進し、さらなる観光客の誘致拡大を図る必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] R2年 福井県観光客入込数 1,171万人 観光消費額 834億円						
[事業目的] 首都圏、関西・中京圏において、県内の観光産業関連事業者と現地の旅行会社のキーマンと商談する機会を提供する。												
[事業内容] 本県観光に関する説明（プレゼンテーション）および観光産業関連事業者による個別具体的な商談を実施												
[受益者] 福井県の観光関係事業者（宿泊業、飲食サービス業）						[想定される受益者数] 5,288事業所（H28経済センサス）						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	・各市町も商談会に参加					他県の状況						

観光商談会開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	藤原 宏子	
事業主体	(公社)福井県観光連盟				事務区分	■ 自治事務		事業区分	H24 年度 経過年数 11 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度	
事業実施方法	補助					□ 法定受託事務						□ 実行予算
補助率	10/10											■ 補助金 □ その他
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	3,314				3,314							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移	4,057	3,150	3,201	3,201	3,314							
2月現計予算額の推移	4,057	3,150	2,221	3,201								
決算額の推移	4,057	3,150	1,527									
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	観光客入込数(千人) (※暦年)	(目標) 実績	(12,750) 16,969	(13,000) 18,100	(17,500) 11,706	(18,000)	(18,500)	(20,000)	(20,000)	R6年目標値 20,000千人(観光ビジョン R2~R6)		
活動指標	県内観光事業者参加団体 数	(目標) 実績	(150) 127	(150) 124	(150) 57	(150)	(150)	(150)	(150)			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
・大阪観光商談会(オンライン) 県内事業者数 32団体 56人 旅行会社 15社 34人 ・名古屋観光商談会(オンライン) 県内事業者数 31団体 50人 旅行会社 14社 27人 ・東京観光商談会(オンライン) 県内事業者数 31団体 48人 旅行会社 21社 39人								<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の見直し <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> その他	見直し額	

国際観光推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	藤原 宏子	
事業主体	県、(公社)福井県観光連盟				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H16 年度 経過年数 19 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	10/10											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 新幹線開業効果を最大限]				関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン]					
[解決すべき問題・課題] 訪日外国人は様々な国々から来訪し、旅行形態や目的などが様々なため、適切なプロモーションを実施する必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] R元年 福井県 外国人延べ宿泊者数 97,730人						
[事業目的] 海外旅行会社・メディア等への営業や貸切バスツアーへの助成等を実施し、本県への海外からの誘客拡大を図る。												
[事業内容] (1) 海外旅行会社、教育関係者、メディア等の招へい (2) 海外旅行会社・メディアへの営業、現地プロモーション (3) 本県へのバスツアーに対する助成 補助額 25千円/台泊 対象地域 台湾、中国、韓国、シンガポール、タイ、マレーシア等 補助要件 ア 貸切バス利用 イ 県内宿泊1泊以上 ウ 県内観光地を2か所以上訪問												
[受益者] 福井県の観光関係事業者(宿泊業、飲食サービス業)						[想定される受益者数] 5,288事業所(H28経済センサス)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

国際観光推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	藤原 宏子	
事業主体	県、(公社)福井県観光連盟				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	H16 年度	事業終了予定年度(見直し年度)	R5 年度
事業実施方法	直営、補助									H16 年度		
補助率	10/10									経過年数		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	19,798				19,798							
[予算額の推移等] (単位:千円)												
区分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		31,794	30,167	25,283	22,687	19,798	外国人向けバスツアーに対する助成件数の減					
2月現計予算額の推移		31,794	28,667	12,108	15,687							
決算額の推移		28,599	24,603	8,366								
前年度までの主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	外国人宿泊者数(人) (※暦年)	(目標) 実績	(85,000) 75,860	(100,000) 97,730	(127,000) 23,080	(165,000)	(215,000)	(280,000)	(400,000)	R6年 40万人(ふくい観光ビジョン)		
活動指標	誘客活動実績(件)	(目標) 実績	509	519	30	41				海外旅行博等への参加、視察旅行受入・国内商談会出席等の件数		
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
新型コロナウイルスの影響等により、成果指標は目標達成に至らなかったが、オンラインでの商談会、海外と取引のある国内旅行会社の招聘事業など、コロナ禍でも開催可能な事業を実施。								<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	2,889	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

小松空港を活用した誘客プロモーション事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	藤原 宏子	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H27 年度 経過年数 8 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力) 政策 [10 新幹線開業効果を最大限				関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン]					
[解決すべき問題・課題] 小松空港を活用した本県への送客体制の構築。						[問題・課題を表す客観的データ] 小松空港利用者数推移 2018年 1,581,054人 2019年 1,561,681人 2020年 379,907人						
[事業目的] 本県の魅力を航空会社等とタイアップして国内外に発信し、「本県の空の玄関口」である小松空港を活用した誘客拡大を図る。												
[事業内容] (1) 航空会社(JAL、ANA等)とタイアップした誘客プロモーション JAL・・・機内誌での特集記事掲載、CA等によるおもてなし講座 ほか ANA・・・機内誌での特集記事掲載 ほか (2) 石川県と連携したプロモーション活動 小松空港協議会負担金												
[受益者] 県民、県内観光事業者等						[想定される受益者数] 76万人						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担			□ 無 ■ 有 事業名 小松空港における恐竜王国福井発信事業 (役割分担) 恐竜ロボット等の維持費等			
市町との連携状況						他県の状況			石川県 ・新幹線やのと里山空港と組み合わせた旅行商品の造成支援 ・航空会社と連携した羽田乗り継ぎ便の需要喚起			

小松空港を活用した誘客プロモーション事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	藤原 宏子					
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務		事業 区 分	■ 実行予算		事業 開 始 年 度	H27 年度 経過年数 8 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度		
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金						□ その他	
補助率																
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源	国庫、その他財源の名称等									
予算額	6,785	3,392				3,393	地方創生推進交付金									
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移		10,418	12,031	12,464	12,464	6,785	アンテナショップ運営経費の削減									
2月現計予算額の推移		10,418	12,031	5,707	12,464											
決算額の推移		9,105	10,495	1,615												
前年度までの 主な増減理由																
[成果指標等の推移]																
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	観光客入込数(千人) (※暦年)	(12,750)	(13,000)	(17,500)	(18,000)	(18,500)	(20,000)	(20,000)	R6 年目標値 20,000千人(観光ビジョン R2~R6)							
		実績 16,969	18,100	11,706												
活動指標	機内誌等での特集記事の 掲載	(2)	(2)	(2)	(2)											
		実績 2	2	0	1											
[事業の評価]																
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価								
新型コロナウイルスの影響等により、成果指標は目標達成に至らなかったが、ANAと機内誌記事掲載、JALと台湾オンラインツアー実施(予定)などコロナ禍で実施できる事業を行った。								<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額					
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	5,679					
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他						

小松空港における恐竜王国福井発信事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	藤原 宏子	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H26 年度 経過年数 9 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力) 政策 [10 新幹線開業効果を最大限					関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン]				
[解決すべき問題・課題] 小松空港を活用した本県への送客体制の構築。						[問題・課題を表す客観的データ] 小松空港利用者数推移 2018年 1,581,054人 2019年 1,561,681人 2020年 379,907人						
[事業目的] 「本県の空の玄関口」と位置付ける小松空港において、動く恐竜ロボット等を設置するなど本県の恐竜ブランド発信を強化し、本県への誘客拡大を図る。												
[事業内容] (1) 小松空港内に恐竜ロボット等を設置 設置場所 小松空港1階到着ロビー出入口横(8.96㎡) 主要内容 恐竜ロボットの展示、恐竜博物館等の映像放映等												
[受益者] 県民、県内観光事業者等						[想定される受益者数] 76万人						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担			□ 無 ■ 有 事業名 小松空港を活用した誘客プロモーション事業 (役割分担) 航空会社等とのタイアップによるプロモーションを実施			
市町との連携状況						他県の状況			石川県 ・新幹線やのと里山空港と組み合わせた旅行商品の造成支援 ・航空会社と連携した羽田乗り継ぎ便の需要喚起			

小松空港における恐竜王国福井発信事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	藤原 宏子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 9 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営					■ 法定受託事務						
補助率												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	2,038				2,038							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		5,502	2,067	2,038	2,038	2,038						
2月現計予算額の推移		5,502	2,067	2,038	2,038							
決算額の推移		5,077	2,028	2,037								
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	観光客入込数(千人) (※暦年) (目標) 実績	(12,750) 16,969	(13,000) 18,100	(17,500) 11,706	(18,000)	(18,500)	(20,000)	(20,000)	R6年目標値 20,000千人(観光ビジョン R2~R6)			
活動指標	恐竜ロボットの設置 (基) (目標) 実績	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1)	(1)			小松空港での設置数			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
新型コロナウイルスの影響等により、成果指標は目標達成に至らなかったが恐竜ロボットは安定的に稼働し、本県のPRに努めた								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

小松空港国際定期路線推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	藤原 宏子	
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H29 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 新幹線開業効果を最大限]				関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
羽田・成田や関西空港以外からの流入量の確保。						小松空港利用者数推移 2018年 1,581,054人 2019年 1,561,681人 2020年 379,907人						
[事業目的]												
石川県と連携し、小松空港とアジア各国を結ぶ国際線の新規路線開設や増便を後押しすることにより、ビジネス・観光両面での交流人口拡大を図る。												
[事業内容]												
<p>(1) 香港におけるプロモーション(石川県との連携) 福井県、石川県の観光地等を紹介する現地セミナーの開催やメディア等の県内視察</p> <p>(2) タイからのメディア招へい 個人旅行者誘客に向けてメディアによる県内視察</p> <p>(3) 台湾からのインセンティブツアー誘致 現地企業の報奨旅行誘致に向けた県内視察の実施</p>												
[受益者] 観光事業者(宿泊業、飲食、サービス業)						[想定される受益者数] 5,288事業所(H28経済センサス)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況		石川県 ・新幹線やのと里山空港と組み合わせた旅行商品の造成支援 ・航空会社と連携した羽田乗り継ぎ便の需要喚起				

小松空港国際定期路線推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	藤原 宏子	
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開 始 年 度	H29 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務						
補助率												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	8,995				8,995							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		4,006	11,500	11,200	7,995	8,995						
2月現計予算額の推移		4,006	11,500	0	0							
決算額の推移		3,637	8,019	0								
前年度までの 主な増減理由	R3 事業内容を小松空港国際線の早期再開および誘客回復に変更											
[成果指標等の推移]												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	国際定期路線の開拓 (目標) 実績								国際定期路線の開拓を後押しするものであり、成果指標の設定になじまない。			
活動指標	メディア等による県内視 察 (目標) 実績	(1) 1	(3) 5	(3) 0	(3)							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
KOL招聘、旅行博出店、WEBプロモーションを予定していたが、石川県と調整の上、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止□								□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								■ 継続	□ 休止	□ 完了		
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

台湾における営業力強化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	藤原 宏子	
事業主体		(公社) 福井県観光連盟			事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	H30 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	補助金											
補助率	10/10											
福井県長期ビジョン における位置付け		分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 新幹線開業効果を最大限]			関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン]					
[解決すべき問題・課題] 訪日リピート層が多い台湾からの安定的な送客環境の構築。						[問題・課題を表す客観的データ] 2018年⇒2019年 福井県 訪日外国人延べ宿泊数の伸び率 122.7% うち台湾の伸び率 110.4%						
[事業目的] 本県最大のインバウンドマーケットである台湾からのさらなる誘客拡大に向けて継続的に売り込む必要があるため、現地営業窓口を置き、本県誘客の営業を強化する。												
[事業内容] 台湾の旅行会社に本県の営業窓口を置き、問合せ対応や現地旅行会社への訪問営業を実施 ○実施方法・・・現地の旅行会社等に委託 ○業務内容・・・①現地旅行会社やメディア等への訪問営業 ②訪日旅行ニーズ等の現地最新情報収集 ③現地発の“ZEN”ツアーの商品造成 ④旅行会社からの問い合わせ対応 など												
[受益者] 観光事業者(宿泊業、飲食、サービス業)						[想定される受益者数] 5,288事業所 (H28経済センサス)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担			■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)			
市町との連携状況						他県の状況			営業窓口 富山県・・・台湾、香港 石川県・・・フランス			

台湾における営業力強化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	藤原 宏子
事業主体	(公社) 福井県観光連盟				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 H30 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	補助金										
補助率	10/10										
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等					
予算額	6,400				6,400						
[予算額の推移等] (単位：千円)											
区分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由				
当初予算額の推移		4,387	4,387	6,400		6,400					
2月現計予算額の推移		4,387	4,387	12,800							
決算額の推移		4,000	4,300	6,400							
前年度までの 主な増減理由	令和3年度当初予算はコロナ対策のため令和2年度2月補正予算に前倒し										
[成果指標等の推移]											
区分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	外国人宿泊者数(人) (※暦年)	(目標) 実績	(85,000) 75,860	(100,000) 97,730	(127,000) 23,080	(165,000)	(215,000)	(280,000)	(400,000)	R6年 40万人(ふくい観光ビジョン)	
活動指標	営業窓口設置数	(目標) 実績	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1)	(1)				
[事業の評価]											
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価			
新型コロナウイルスの影響等により、成果指標は目標達成に至らなかったが、下記実施。 ① 旅行会社等への訪問 計50回 ② Facebookでの情報発信 計28回 ③ B to Cセミナーの開催(予定) ④ 福井県台湾商談会の開催(予定)								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

東京や関西等の観光団体と連携した外国人観光客誘客促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	藤原 宏子	
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 新幹線開業効果を最大限]				関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン]					
[解決すべき問題・課題] 東京、大阪、京都などの既に多くの外国人観光客が訪れる地域と連携した本県への誘客体制の構築。						[問題・課題を表す客観的データ] 2019年 訪日外国人延べ宿泊数 東京 29,350,650人、大阪 17,926,170人、京都 12,025,050人、長野 1,577,570人						
[事業目的] 訪日外国人が集中し、今後も大阪・関西万博などで一層の増加が見込まれる東京、大阪、京都等からの誘客を促進するため、これら地域のインバウンドに先進的に取り組んでいる観光団体等と連携し、各団体のノウハウやPRチャンネルを活かしながら、誘客拡大を図る。												
[事業内容] (1) 関西観光本部と連携した観光エリアの共同PR (2) 大阪観光局と連携した広域周遊ルートの共同PR (3) 京都市観光協会と連携した京都発着のショート観光ルートの共同PR (4) 長野県内の観光協会と連携した福井・長野の周遊旅行を共同PR												
[受益者] 観光事業者(宿泊業、飲食、サービス業)						[想定される受益者数] 5,288事業所(H28経済センサス)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

東京や関西等の観光団体と連携した外国人観光客誘客促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	藤原 宏子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務						
補助率												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	5,900				5,900							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移				10,308	10,210	5,900	東京オリンピック・パラリンピックに合わせたPRの終了					
2月現計予算額の推移				3,408	10,210							
決算額の推移				3,329								
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	外国人宿泊者数(人) (※暦年) (目標) 実績	(85,000) 75,860	(100,000) 97,730	(127,000) 23,080	(165,000)	(215,000)	(280,000)	(400,000)	R6年 40万人(ふくい観光ビジョン)			
活動指標	他地域との連携実績 (件) (目標) 実績			(5) 1	(5)							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
新型コロナウイルスの影響等により、成果指標は目標達成に至らなかったが、下記実施。 ○関西観光本部との連携 ・旅行商品造成 1件 ・営業活動 1件 ・雑誌掲載 1誌								□ 拡充	■ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								□ 継続	□ 休止	□ 完了	4,310	
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

JR西日本と連携したインバウンド誘客促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	藤原 宏子	
事業主体		県、インバウンド推進協議会等			事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営、負担金											
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け		分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 新幹線開業効果を最大限]			関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン]					
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線開業を控えJR西日本との連携や、多数の訪日外国人が利用する東海道新幹線の運行主体であるJR東海などのJR各社との連携強化。						[問題・課題を表す客観的データ] R元年 福井県 外国人延べ宿泊者数 97,730人						
[事業目的] 高い送客能力を持つJR各社と連携し、訪日需要の早期回復が見込まれるアジア圏からの誘客を図る。												
[事業内容] (1) 福井県インバウンド推進協議会[※事務局JR西日本福井支店]と連携し、台湾向けプロモーションを実施 (2) JR西日本(大阪本社)と連携し、台湾・香港・中国向けの着地型コンテンツの造成・販売												
[受益者] 観光事業者(宿泊業、飲食、サービス業)						[想定される受益者数] 5,288事業所(H28経済センサス)						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

JR西日本と連携したインバウンド誘客促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	藤原 宏子					
事業主体	県、インバウンド推進協議会等				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度		
事業実施方法	直営、負担金					□ 法定受託事務			□ 補助金						■ その他	
補助率																
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等									
予算額	6,100				6,100											
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移				6,100		6,100										
2月現計予算額の推移				12,200												
決算額の推移				4,269												
前年度までの 主な増減理由	令和3年度当初予算はコロナ対策のため令和2年度2月補正予算に前倒し															
[成果指標等の推移]																
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	外国人宿泊者数(人) (※暦年)	(目標) 実績	(85,000) 75,860	(100,000) 97,730	(127,000) 23,080	(165,000)	(215,000)	(280,000)	(400,000)	R6年 40万人(ふくい観光ビジョン)						
活動指標	JRとの連携実績	(目標) 実績			(6) 3	(3) 3										
[事業の評価]																
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価								
新型コロナウイルスの影響等により、成果指標は目標達成に至らなかったが、下記実施。 ・アフターコロナの訪日外国人誘致に向けたポテンシャル把握調査 ・着地型商品造成 2件 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>								<input type="checkbox"/> 拡充		<input type="checkbox"/> 縮減		<input type="checkbox"/> 終期の見直し		見直し額		
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続		<input type="checkbox"/> 休止		<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合		<input type="checkbox"/> 廃止		<input type="checkbox"/> その他				

インバウンド向けデジタルマーケティング推進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	藤原 宏子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 新幹線開業効果を最大限]				関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン]					
[解決すべき問題・課題] 効率的に海外へ情報を発信するため、デジタル領域でのプレゼンス向上を図ることが必要。						[問題・課題を表す客観的データ] 福井県OTA(Booking.com)登録施設数 R3年5月時点 81件 (全国47位)						
[事業目的] SNSやウェブPRを駆使したマーケティング体制の構築、OTA登録促進によるデジタル領域での誘客促進を行う。												
[事業内容] (1) デジタルマーケティング体制整備費 ・ インバウンド向けHPのシステム等維持管理費 ・ 多言語SNS運営 英語、中国語(繁体字・簡体字)でのSNS運営 ・ ウェブプロモーション SNS広告、ウェブ広告 (2) OTA活用セミナー 訪日外国人の予約行動、OTAを活用したインバウンド需要獲得等をテーマとしたセミナーを実施												
[受益者] 観光事業者(宿泊業、飲食、サービス業)						[想定される受益者数] 5,288事業所(H28経済センサス)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況		石川県 ・ SNS運営 FB(英、繁) IG(英) ・ ウェブ広告 SNS広告 富山県 ・ SNS運営 FB(英、繁、簡、タイ) Weibo, Weixin(簡)				

インバウンド向けデジタルマーケティング推進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	藤原 宏子	
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開 始 年 度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務						
補助率												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	26,099	13,049			13,050	地方創生推進交付金						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移						26,099						
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	ウェブサイトPV数 (目標) 実績					(61,235)	(65,873)	(97,833)	令和元年度PV数から単年度平均約12%、最終60%増加を目指す。			
活動指標	セミナー開催数 (目標) 実績					(1)						
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

東南アジア市場新規開拓事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	藤原 宏子				
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度) R6 年度					
事業実施方法	直営														
補助率															
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを広げる (創造力)]	政策 [10 新幹線開業効果を最大限]			関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン]								
[解決すべき問題・課題] 東南アジアにおける旅先としての福井県認知度向上						[問題・課題を表す客観的データ] R元年 福井県 外国人延べ宿泊者数 97,730人 うち東南アジア 7,920人 (全体の8.1%)									
[事業目的] 将来の訪日ポテンシャルが高く、食文化や宗教上の受入環境整備の障壁が少ない東南アジア市場を多数の自治体が参入する前に新規開拓し、将来の渡航者数を獲得する。															
[事業内容] 対象市場：フィリピン、ベトナム (1) 展示会 フィリピン：旅行社等との共同出店 ベトナム：JNTOブースに出展 (2) 情報発信 ・現地のKOL招へい															
[受益者] 観光事業者 (宿泊業、飲食、サービス業)						[想定される受益者数] 5,288事業所 (H28経済センサス)									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)								
市町との連携状況						他県の状況									

東南アジア市場新規開拓事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	藤原 宏子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務						
補助率												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	4,360				4,360							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移				3,191		4,360						
2月現計予算額の推移				0								
決算額の推移				0								
前年度までの 主な増減理由	R3 新型コロナウイルスの影響により事業中止											
[成果指標等の推移]												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	外国人宿泊者数(人) (※暦年) (目標) 実績	(85,000) 75,860	(100,000) 97,730	(127,000) 23,080	(165,000)	(215,000)	(280,000)	(400,000)	R6年 40万人(ふくい観光ビジョン)			
活動指標	SNSによる情報発信リーチ 数 (目標) 実績					(30,000)			フィリピン、ベトナム [7,500リーチ/投稿×2投稿×2か国] ※R2、R3はコロナのため事業実績なし			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

ZENによる誘客促進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	藤原 宏子	
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力) 政策 [10 新幹線開業効果を最大限					関連する県の計画等		[ぶくい観光ビジョン]				
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 欧米に対する福井県の認知度向上。 ・ 訪日外国人向けの着地型商品が少ない。 						R元年 福井県 外国人延べ宿泊者数 97,730人						
[事業目的]												
日本の歴史や伝統的な文化・食に興味関心のある外国人旅行者に対して、「Zen, Alive. Fukui」のプロモーションと実際に体験できるコンテンツ造成を通じ、ZENという日本文化への理解、本県への誘客と消費拡大を図る。												
[事業内容]												
<p>(1) 商品造成と磨き上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 欧米市場を対象とした旅行会社・ツアーオペレーター招へい ・ 直接海外の顧客をもつ全国通訳案内士の招へい ・ 海外旅行会社向けオンラインセミナーを開催 ・ 大都市圏の国際ホテルチェーンコンシェルジュの招へい <p>(2) 販路開拓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 北米レップの設置 <p>(3) プロモーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 米、仏のZENセンターを活用した「salon de ZEN」イベントの開催 <p>(4) 受入環境整備</p>												
[受益者] 観光事業者(宿泊業、飲食、サービス業)						[想定される受益者数] 5,288事業所 (H28経済センサス)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況						

ZENによる誘客促進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	藤原 宏子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営					■ 法定受託事務						
補助率												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	16,400				16,400							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移						16,400						
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	外国人宿泊者数(人) (※暦年) (目標) 実績	(85,000) 75,860	(100,000) 97,730	(127,000) 23,080	(165,000)	(215,000)	(280,000)	(400,000)	R6年 40万人(ふくい観光ビジョン)			
活動指標	営業窓口設置数 (目標) 実績					(1)						
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

周遊・滞在型観光推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	藤原 宏子	
事業主体	市町、観光団体等				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H28 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	ハード事業支援 3/10、ソフト事業支援 1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 新幹線開業効果を最大限]				関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン]					
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線敦賀開業や中部縦貫自動車道全線開通に向け、複数の市町が連携した周遊・滞在型観光を推進し、さらなる誘客拡大や地域の活性化を図る必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] R2年 福井県観光客入込数 1,171万人 観光消費額 834億円						
[事業目的] 複数の市町が連携した周遊・滞在型観光を推進することにより、北陸新幹線敦賀開業や中部縦貫自動車道全線開通に向け、さらなる誘客拡大や地域の活性化を図る。												
[事業内容] 市町等が実施する以下の事業に対する支援 ○ハード事業 ①エリアのゲートウェイ機能（広域観光案内、物産販売等の機能）を持ち、エリア内周遊の拠点となるもの ②エリア内の宿泊拠点となり、宿泊者数増加につながるもの ③主要観光地において観光客の滞在時間の増加を促すもの に対して支援する。 ○ソフト事業 エリアの魅力創出、周遊・滞在型観光の推進に資する新規・拡充事業（次年度以降も継続実施するもの）に対して支援する。												
[受益者] 福井県の観光関係事業者（宿泊業、飲食サービス業）						[想定される受益者数] 5,288事業所（H28経済センサス）						
前事業の有無・実績	□ 無 ■ 有 事業名 観光まちなみ魅力アップ事業 (実績) H24年度～29年度 ハード、ソフト事業に対して支援				関連事業の有無・ 役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	複数の市町が連携した周遊・滞在型観光を推進				他県の状況							

周遊・滞在型観光推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	藤原 宏子	
事業主体	市町、観光団体等				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	H28 年度 事業開始 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度	
事業実施方法	直営、補助					□ 法定受託事務						□ 実行予算
補助率	ハード事業支援 3/10、ソフト事業支援 1/2					□ その他						■ 補助金
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	343,157				343,157							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		158,472	565,925	522,948	227,156	343,157	計画5年目にあたり、市町からの申請見込み額が増加					
2月現計予算額の推移		60,387	474,762	507,006	217,249							
決算額の推移		39,477	375,971	430,791								
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	観光客入込数(千人) (※暦年)	(目標) (12,750)	(13,000)	(17,500)	(18,000)	(18,500)	(20,000)	(20,000)	R6年目標値 20,000千人(観光ビジョン R2~R6)			
		実績 16,969	18,100	11,706								
活動指標	ソフト事業支援採択数	(目標) (15)	(15)	(15)	(15)	(15)						
		実績 15	15	16								
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
ハード事業支援 6箇所 ソフト事業支援 19件								□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								■ 継続	□ 休止	□ 完了		
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

民宿リニューアル支援事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	藤原 宏子	
事業主体	市町、民間事業者				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1/3、1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 新幹線開業効果を最大限]				関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン]					
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線の利用者や今後増加が見込まれる外国人観光客等の新たな宿泊需要に対応する必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] R2年 延べ宿泊者数 256万人(全国38位)						
[事業目的] 北陸新幹線福井・敦賀開業や中部縦貫自動車道の全線開通に備え、観光客の宿泊需要に対応するため、民宿の魅力向上や受入環境の整備を支援する。												
[事業内容] (1) 市町等が行う民宿事業者への店舗改修費の補助を支援し、宿泊の受入環境を整備 民宿における客室の内装改修、浴室の整備改修、トイレの洋式化、外観修繕 等 県1/3(市町1/3、事業者1/3) 補助上限額 5,000千円(事業費ベース15,000千円) (2) 地域一体となった観光地再生に取り組む民宿の大規模改修を支援 県1/2(市町1/3、事業者1/6) 補助上限額 60,000千円(事業費ベース120,000千円) (3) 旅の目的となる特別感のある上質な宿泊施設等への改修を支援 県1/2(事業者1/2) 補助上限額 60,000千円(事業費ベース120,000千円)												
[受益者] 福井県の観光関係事業者(宿泊業、飲食サービス業)						[想定される受益者数] 5,288事業所(H28経済センサス)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	市町等が行う民宿事業者への店舗改修費の補助を支援					他県の状況						

民宿リニューアル支援事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	藤原 宏子		
事業主体	市町、民間事業者				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	補助												
補助率	1/3、1/2												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等						
予算額	214,578					214,578							
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移				50,000	50,000	214,578	以下の事業を追加したことによる増額 ・地域一体となった観光地再生に取り組む民宿の大規模改修を支援 ・旅の目的となる特別感のある上質な宿泊施設等への改修を支援						
2月現計予算額の推移				44,430	45,874								
決算額の推移				44,042									
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	延べ宿泊者数(万人) (目標) 実績			(415) 256	(420)	(425)	(510)	(510)	R6年目標値 510万人(ふくい観光ビジョン)				
活動指標	支援採択数 (目標) 実績			(10) 24	(10)	(27)							
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価					
外観の修繕や浴室改修など19件の民宿等のリニューアルを支援								<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

東尋坊活性化支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	藤原 宏子	
事業主体	市町ほか				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1/2等											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 新幹線開業効果を最大限]					関連する県の計画等	[ふくい観光ビジョン]					
[解決すべき問題・課題] 本県を代表とする観光地としてスケールアップを図る必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] R2年 東尋坊観光客入込数 676千人						
[事業目的] 県外での認知度も高く、本県で最も観光客が訪れる東尋坊において、新しい魅力づくりや東尋坊全体の活性化を支援し、本県を代表する観光地としてスケールアップを図る。												
[事業内容] 東尋坊再整備基本計画に基づく活性化事業への支援 (1) ハード整備への支援 駐車場の集約・一元化、県道・市道改修、ビジターセンターの整備 等 (2) ソフト事業への支援 商店街の活性化・名物商品の開発 等												
[受益者] 福井県の観光関係事業者(宿泊業、飲食サービス業)						[想定される受益者数] 5,288事業所 (H28経済センサス)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	東尋坊全体の活性化策について、坂井市・地元関係者等と検討					他県の状況						

東尋坊活性化支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	藤原 宏子	
事業主体	市町ほか				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度
事業実施方法	補助					事業 区分						
補助率	1/2等											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	365,817				365,817							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移				4,734	105,504	365,817						
2月現計予算額の推移				13,130	101,814							
決算額の推移				13,011								
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	観光客入込数(千人) (※暦年)	(目標) 実績	(12,750) 16,969	(13,000) 18,100	(17,500) 11,706	(18,000)	(18,500)	(20,000)	(20,000)	R6年目標値 20,000千人(観光ビジョン R2~R6)		
活動指標		(目標) 実績								事業内容が拠点整備等への支援であるため活動指標の設定なし		
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場の集約・一元化(実施設計) ・県道拡幅・市道付替え(実施設計等) ・ビジターセンター・交通ステーション(基本設計等) ・商店街リニューアル(基本設計等) 				<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場の集約・一元化(工事) ・県道拡幅・市道付替え(工事) ・ビジターセンター・交通ステーション(実施設計等) ・商店街リニューアル(実施設計・工事等) 				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

六呂師高原活性化事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	藤原 宏子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 新幹線開業効果を最大限]				関連する県の計画等		[ぶくい観光ビジョン]					
[解決すべき問題・課題] 中部縦貫自動車道の開通に向けて、六呂師高原エリアのレベルアップを図りさらなる誘客促進を図る必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] R2年 六呂師高原観光客入込数 102千人						
[事業目的] 六呂師高原の新たな誘客の柱の検討や六呂師高原内の各施設レベルアップ等を図り、中部縦貫自動車道の開通効果の最大化と地域の活性化を目指す。												
[事業内容] (1) 六呂師高原に新たに参入する民間事業者の誘致・事業者選定 (2) 大野市の貴重な地質調査 (3) 六呂師高原スキー体験施設の解体設計												
[受益者] 福井県の観光関係事業者(宿泊業、飲食サービス業)						[想定される受益者数] 5,288事業所(H28経済センサス)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	六呂師高原全体の活性化策について、大野市・地元関係者等と検討					他県の状況						

六呂師高原活性化事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	藤原 宏子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務						
補助率												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	20,821				20,821							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移				4,734	18,139	20,821						
2月現計予算額の推移				13,130	18,139							
決算額の推移				13,011								
前年度までの 主な増減理由	R3 六呂師高原活性化構想を策定											
[成果指標等の推移]												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	六呂師高原全体の観光客 入込数(千人) (※暦年)					(180)		(280)	R8年目標値 280千人(六呂師高原活性化構想)			
活動指標	(目標) 実績											
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
六呂師高原活性化構想を策定				六呂師高原に事業参入を行う民間事業者の検討				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								□ 継続	□ 休止	□ 完了		
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

夜間観光促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	藤原 宏子	
事業主体	市町、団体等				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 新幹線開業効果を最大限]				関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン]					
[解決すべき問題・課題] 県内の観光入込は、日帰り客が全体の約8割を占めており、新幹線開業の効果を最大限にするためには、滞在時間の伸長、観光客の増加が必要であり、夜間観光の目玉となるコンテンツが求められる。						[問題・課題を表す客観的データ] R2年県内観光客入込数 11,706千人 うち、日帰り客 9,705千人(82.9%) 宿泊客 2,001千人(17.1%)						
[事業目的] イルミネーションエリアの創出を図るとともに、宿泊事業者と連携した夜間イベントを開催することにより夜間の賑わいを創出し、観光客の県内宿泊の増加を図る。												
[事業内容] (1) イルミネーションエリアの創出に対する支援 補助上限額 2,500千円/本 (2) ナイトコンテンツ造成支援 補助上限額 2,000千円(新規事業) 1,000千円(ブラッシュアップ事業)												
[受益者] 福井県の観光関係事業者(宿泊業、飲食サービス業)						[想定される受益者数] 5,288事業所(H28経済センサス)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況						

夜間観光促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	藤原 宏子				
事業主体	市町、団体等				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度			
事業実施方法	補助					□ 法定受託事務							□ 実行予算	■ 補助金	□ その他
補助率	1/2														
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等									
予算額	27,500				27,500										
[予算額の推移等] (単位：千円)															
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移						27,500									
2月現計予算額の推移				41,100											
決算額の推移															
前年度までの 主な増減理由															
[成果指標等の推移]															
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	延べ宿泊者数(万人) (目標) 実績			(415) 256	(420)	(425)	(510)	(510)	R6年目標値 510万人(ふくい観光ビジョン)						
活動指標	イルミネーション等設 置、夜間イベント開催件 数 (目標) 実績			(10) 5	(10)	(10)									
[事業の評価]															
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価							
新型コロナウイルスの影響等により目標は下回ったものの、4市町5件のプロジェクションマッピング等整備を支援				既存の広報媒体を活用するなどし広報経費を縮減				□ 拡充	■ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額				
								□ 継続	□ 休止	□ 完了	13,600				
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他					

稼ぐ観光地づくり応援プロジェクト事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	藤原 宏子	
事業主体	県、市町				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 新幹線開業効果を最大限]				関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン]					
[解決すべき問題・課題] JR西日本・福井県・旅行会社が連携した観光開発プロジェクトの実施に当たり、旅行商品のさらなる造成を進める必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] R2年 福井県観光客入込数 1,171万人 観光消費額 834億円						
[事業目的] 北陸新幹線福井・敦賀開業に向け、JR西日本・福井県・旅行会社の連携による観光開発プロジェクトを実施することが決定した。本プロジェクトにより、本県を周遊する旅行商品造成を進め、県内周遊観光促進を図る。												
[事業内容] (1) 旅行商品造成にかかる支援 旅行会社からの助言等に基づき、市町が行う以下の事業 補助対象 ①体験メニュー、アクティビティ等の開発および観光素材の磨き上げ ②観光施設等の改修や備品の追加・更新(新規整備は対象外) (2) 旅行会社仕入れ担当職員による現地視察												
[受益者] 福井県の観光関係事業者(宿泊業、飲食サービス業)						[想定される受益者数] 5,288事業所(H28経済センサス)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況						

稼ぐ観光地づくり応援プロジェクト事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	藤原 宏子			
事業主体	県、市町				事務 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開 始 年 度	R4 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度	
事業実施方法	直営、補助										事業 区 分			R4 年度
補助率	1/2										R4 年度			R4 年度
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	102,502				102,502									
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移						102,502								
2月現計予算額の推移														
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	観光客入込数(千人) (※暦年) (目標) 実績					(18,500)	(20,000)	(20,000)	R6年目標値 20,000千人(観光ビジョン R2~R6)					
活動指標	旅行会社による視察件数 (目標) 実績					(6)								
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価						
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				